

# 茨城県常陸太田市立誉田小学校（学校長 佐川 憲一郎）

|      |                                  |          |                |
|------|----------------------------------|----------|----------------|
| 実施日  | 平成20年2月14日（木）                    | 時間       | 午前10時～午後12時50分 |
| 実施場所 | 視聴覚室                             | 対象/人数    | 5・6年生61名       |
| 担当教諭 | 石井 隼人、浅見 紀央                      | ファシリテーター | 根本 久美子         |
| 講師   | 馬 晋（中国・留学生）<br>板橋 国明（青年海外協力隊 OB） |          |                |

## 活動内容

交流理解講座 人を通じての外国への親近感と興味の醸成  
ワークショップ「地球家族」世界の国々の暮らしを考え、  
自分たちの暮らし方を再考する  
会食

## 児童の感想

- ・今までは英語でのあいさつしか知らなかったけど、タイや中国の簡単なあいさつの仕方を教わることができてよかった。
- ・タイや中国の人たちの生活がよくわかった。タイの人はいつでも笑顔だというのが印象的だった。
- ・「豊かさ」とは、人によって感じ方が全く違うということに驚いた。

## 先生の感想

・子どもたちはふだんALTの先生と英語での会話には慣れ親しんでいたが、今回のように違う言葉や文化に触れることは、大変貴重な体験になった。初めは、何を話しているのか全く分からずついていけなかった子どもたちも授業が終わる頃には、積極的にコミュニケーションをとり、様々なことを吸収することができた。6年生においては、社会科の授業で学習した青年海外協力隊の人から生の声を聞くことで、教科書だけでは学べない実体験からの現状を知ることができた。地球家族においては「本当の豊かさ」について一人一人が考えを深めることができてよかった。

## 成果と課題

- ・タイ、中国の講師と交流することで、それぞれの国への関心を持ち、もっと知りたいという学習意欲をもつことができた。
- ・英語圏などの外国以外にも色々な国があり、様々な文化や言葉があるのだということを知り、「外国」という認識を広げるとともに、国や言葉が違ってても、日本人の生活や文化と共通している点もあることにも気づき、「外国」を身近に感じることができた。

- ・「本当の豊かさ」を考えることで、国際理解教育だけでなく、人権教育についても触れることができた。
- ・活動内容が盛りだくさんで、時間が足りなかった。もっと、ゆとりのある時間配分をしたい。
- ・今回は、高学年対象で行ったが、対象学年を広げ、全校児童で行うことも検討していきたい。

